

経ヶ岬通信所だより

No. 5



ドラゴン・カヌー・レース



近畿中部防衛局広報誌

2019

地域住民の方々の安全・安心の確保に取り組んでいます

○安全・安心対策連絡会で通信所における2期工事の進捗状況等を説明

近畿中部防衛局は9月5日（木）、第21回目となる米軍経ヶ岬通信所の設置に係る安全・安心対策連絡会を開催し、通信所の発電機の土日・夜間稼働に関する状況や、通信所で行われている隊舎など生活関連施設の建設工事（いわゆる2期工事）の進捗状況、交通安全講習会など交通安全への取組、穴文殊祭りへの米軍人等の参加を含む日米交流の状況等について、京都府や京丹後市、地域住民代表の方々にご説明しました。

特に2期工事に関しては、現時点で完成が大きく遅れる見込みであることを説明し、土曜日の工事実施について地元の皆様のご理解を求めました。（近畿中部防衛局からの説明の要旨は次ページ参照。）

これに対し、地域住民代表の方からは、米軍人の居住を可能とする建設工事について、今回説明のあった完成予定時期は、総力をあげて守っていただきたいとのご意見をいただきました。

また、京都府及び京丹後市からは、2期工事の遅れは誠に遺憾であり、今後も、可能な限り早期の完成を目指して適切かつ安全な工事を行うとともに、工事の進捗等について、引き続き地域住民の方に丁寧に説明し、十分に理解を得られるよう努めてほしいとの申し入れがありました。



第21回安全・安心連絡会の開催



近畿中部防衛局からの説明



第14ミサイル防衛中隊中隊長からの挨拶



京丹後市副市長からのご意見

2期工事の進捗状況及び今後の見通しに関する説明要旨



▼工事の進捗状況

主要項目	主な実施済の作業	実施中または予定されている主な作業
隊舎の建設	建物のコンクリート打設	内装・機械・設備工事等
厚生施設の建設	建物のコンクリート打設	内装・機械・設備工事等
設備棟及び給水タンク等の建設	—	敷地造成 建物のコンクリート打設等
電気・水道配管等のインフラ工事	—	敷地造成 配管・埋戻し等
駐車場、施設内通路等の整備	—	敷地造成 入門管理所・警衛所等設置
本設フェンス等の設置	支柱の設置	フェンスの設置等

※ 1 現時点での計画です。

※ 2  は、米側が予算を確保した後、施設整備を実施する可能性のある場所を例示したものです。

○ 米軍にとって近畿地区における初めての米軍施設の建設工事で、地域の情勢に不慣れだったことや、工事を進める上で必要な個々の手続に予想以上の時間を要したこと等により、工事の完成及び引渡しに相当の遅れが見込まれている。

○ このような状況において、米軍は、これ以上遅れが拡大することを防ぎ、可能な限り早期の工事完成を目指すために、毎週土曜日でも工事を実施せざるを得ない状況が続いており、今後も、基本的に毎週土曜日の工事を実施したい。

米軍は、土曜日の工事においては、生コン車等の大型工事車両の1日の交通量が多くなるような作業は控え、地域住民の方々の生活に与える影響ができるだけ小さなものとなるよう配慮する。

○ 具体的な工事の完成時期は米軍内で引き続き精査中だが、今後、月曜日から土曜日まで工事を実施することとすれば、米軍人の居住を可能とするための建設工事については、現時点の見込みとして、2020年12月頃の完成を目指すことができる。

○ 米軍は、地域の方々の理解を得ながら工事を進めていくことの重要性を十分理解しており、今後は、工事の進捗状況等について、本連絡会で防衛局から地域住民の方々に説明できるよう情報の提供に努めるのでご理解を賜りたい。

👉 日米でさまざまな交流を行っています

○英会話やイースターエッグハント等のイベントを通じた日米交流の促進

通信所の米軍人等は、毎月、袖志農民研修施設で行われている英会話交流や、イースターエッグハント等のイベントを通じて日米交流を深めています。

4月20日（土）には、毎年恒例となっている京丹後市国際交流協会と米陸軍経ヶ岬通信所共催のイースターイベントが開催され、快晴の空の下、大勢の子どもたちが参加しました。

また、5月25日（土）には、神奈川県キャンプ座間に拠点を置く在日米陸軍軍楽隊が京丹後市を訪れ、黒部地区公民館で演奏会を実施し、多くの地域の方々が、本場のジャズに耳を傾けました。翌26日（日）には、経ヶ岬分屯基地開庁62周年のエアフェスタ経ヶ岬2019において、「スタンドバイミー」や「上を向いて歩こう」等の地元の方も聞きなれたスタンダードナンバーを演奏いたしました。



英会話交流の様子



イースターエッグハント



黒部地区公民館での演奏会



エアフェスタ経ヶ岬2019での演奏会

○通信所の米軍人等が穴文殊祭に参加、在日米陸軍軍楽隊による演奏会

8月24日(土)、清涼山九品寺の境内において恒例の穴文殊祭が開催されました。地元の方々に加え、第14ミサイル防衛中隊中隊長を含む多くの米軍人が参加し、地元の皆様と一緒に盆踊りを楽しむなど、交流を深めました。

また、お祭りに合わせて、神奈川県キャンプ座間に拠点を置く在日米陸軍の軍楽隊が京丹後市を訪れ、祭り会場で音楽を演奏して盛り上げたほか、24日(土)から25日(日)にかけて、ショッピングセンターマインや、丹後王国「食のみやこ」、丹後小学校において演奏会を行いました。



盆踊りに参加する米軍人



穴文殊祭における軍楽隊の演奏



ショッピングセンターマインでの軍楽隊の演奏



丹後王国「食のみやこ」での軍楽隊の演奏



丹後小学校での軍楽隊の演奏と交流



👉 米陸軍経ヶ岬通信所からの紹介！



○文化交流イベント活動

海岸清掃

第14ミサイル防衛中隊チームは6月2日（日）、京丹後市国際交流協会が主催した京丹後市久美浜町での海岸清掃を支援しました。この海岸清掃は、京丹後の美しい自然を保護する為、そして京丹後市在住の外国籍の方々と地元の方々との交流を深める為に開催され、約60名が参加しました。

京丹後市国際交流協会の麻田事務局長は、「地元の方だけではなく、フィリピン、ベトナム、中国、ニュージーランド、そしてアメリカの方たちが参加されました。京丹後の美しいビーチも紹介することができました。」と話しました。「京丹後の海はとても美しいです。」と話すのは第14ミサイル防衛中隊副中隊長のキャンプ中尉です。「このような美しい地域に住むことができとても幸せに感じています。私たちは常に地域の為に何か貢献したいと思っています。今後もこのような機会があれば参加したいです。」清掃活動で共に汗を流した後は交流会に参加し、地元の食材を使った海鮮などおいしい料理に舌鼓を打ちました。



ドラゴン・カヌー・レース

米陸軍経ヶ岬通信所と航空自衛隊第35警戒隊有志は8月4日（日）、京丹後市久美浜町で開催されたドラゴン・カヌー・レースに参加しました。京丹後の夏の風物詩ともいえるイベントで、経ヶ岬通信所としては5回連続の参加となります。レースには地元の京丹後市をはじめ東京や大阪、京都などから80チーム以上が参加しました。

「皆で太鼓のリズムに合わせて協力して漕ぐことが大事です。」と話すのは第14ミサイル防衛中隊のメヒュー少尉です。「私たちのチームはメンバー全員が初参加であり、レーンをまっすぐ進むのさえ大変でしたが、地域の皆様と素晴らしい時間を過ごし多くの思い出を作ることができました。ただ、第二ラウンドで負けてしまってとても悔しかったので次は練習を積んでもう少し良い成績を残したいです。」と笑顔で話しました。



〇バドミントンを通して育んだ友情



午後の休憩時間、航空自衛隊第35警戒隊経ヶ岬分屯基地の体育館では、ラケットでシャトルを軽快に打つ音そしてキュッキュとシューズがフロアをこする音が絶え間なく響いています。第35警戒隊のバドミントンクラブのメンバーに交じって、一人の米陸軍兵士が練習に励んでいます。第14ミサイル防衛中隊所属のアビジャ・ゴードン3等軍曹です。「第35警戒隊のみんなとバドミントンを通して友人関係を作ることができたのが、日本における一番の思い出です。」とゴードン3等軍曹は話します。「経ヶ岬に着任後この一年間、昼休みの都合のいいときはいつも航空自衛隊の体育館でバドミントンをプレーしていました。」ゴードン3等軍曹は以前バドミントンの経験があり、第35警戒隊バドミントンクラブが昼休みに練習をしていると知ったとき、すぐに参加しようと決めました。「初めて彼らの練習を見たとき、あまりに上手で驚きました。」と振り返ります。「彼らは強くてなかなか勝てなかったけど、仲間として受け入れてくれて嬉しかったです。彼らは生涯の友達です。」

ゴードン3等軍曹には日本での忘れられない出来事があります。彼が所用で大阪の空港に行ったとき、貴重品が入ったカバンをトイレに置き忘れてしまいました。ひどく落ち込みました。翌日空港事務所に問い合わせたところ発見され、無事に空港事務所に届けられていました。「信じられなかったです。こんなことが起こるのは世界でも日本だけではないかと思います。日本人の誠実さ、正直さに感動しました。」と彼は当時を振り返りました。



ゴードン3等軍曹は日本での任務を終え次の赴任地に向かいます。

「日本での勤務は私のこれまでの陸軍でのキャリアにおいて最も印象深いものとなりました。将来、大好きな日本に必ず戻って来たいです。そして、また“トモダチ”と一緒にバドミントンができれば最高です。」



【経ヶ岬通信所の活動状況などはフェイスブックにも掲載していますのでご覧ください。 <https://www.facebook.com/14MDB/>】

👉引き続き地域の交通安全に取り組んでいます！

○米軍人等に対する交通安全講習会を開催しました

5月15日（水）、京丹後警察署の協力を得て、通信所に勤務する米軍人等を対象に、第16回目となる交通安全講習会を開催しました。交通教習所内のコースを使用した実車講習を行い、加えて日本語標記の道路標識の読み方の講義や車両の点検方法の確認を行いました。

また、8月21日（水）には、新しく通信所に赴任した米軍人等を中心に、日本の四季に応じた運転上の注意点や日本語標記の道路標識の読み方等の講義を行いました。

交通安全講習会の様子



○米軍関係者との交通事故で被害を受けられた方へ

米軍関係者との交通事故で受けられた被害については、基本的には日本人同士で交通事故を起こした場合と同様、米側当事者やレンタカー会社が加入する保険を通じて賠償を受けることになります。

当局は、被害者の方からご相談があれば、米側との間に立って調整をするなど、できる限りのお手伝いを行っていますので、お困りのことがありましたら、どのようなことでも結構ですので以下の連絡先にご相談ください。



【連絡先】

近畿中部防衛局管理部業務課

電話 06-6945-4964 / 06-6945-5381（夜間及び休日）

■ ご意見・ご感想等 ■

本誌についての皆様のご意見・ご感想などがありましたら、何でも結構ですのでお聞かせ下さい。皆様方のご意見を参考にさせていただき、より良い誌面作りを目指していきたくと思っています。

（住所）

〒540-0008

大阪市中央区大手前4丁目1-67

近畿中部防衛局

広報編集委員会（報道官気付）

（電話・FAX）

TEL 06-6945-4953

FAX 06-6910-5669

（メールアドレス）

goiken@kinchu.rdb.mod.go.jp

近畿中部防衛局では、防衛省の地方拠点としての役割を果たすため、国民の皆様から防衛行政全般にわたる緊急の連絡、情報提供に対応できる体制を確保しております。

夜間及び休日の緊急連絡先
TEL・FAX 06-6945-5381

KINKI CHUBU

2019 年 経ヶ岬通信所だより（通算第 60 号）

令和元年 9 月発行

近畿中部防衛局
広報編集委員会

TEL 06-6945-4953

URL <http://www.mod.go.jp/rdb/kinchu/>

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。